

## 平成30年度12月補正予算（案）

昨今の地震、風水害や猛烈な暑さを受けて、  
前倒しが必要な施策に速やかに着手するため、  
防災対策の推進、暑さ対策の推進を柱とする補正予算を編成

1	防災対策（ブロック塀対策、非常用電源設置等）	9.9億円
2	暑さ対策（空調設備の設置、東京2020大会暑さ対策）	81.8億円
	計	91.7億円

※ このほか、「暑さ対策」等に係る債務負担行為を計上

# 1 防災対策

9.9億円

人的被害を防ぎ、防災力を強化できるように、必要な経費を計上

## ○ ブロック塀対策 9.8億円

- ・ 区市町村立小中学校、私立学校、民間所有のブロック塀の撤去や木塀の設置等を対象に、都独自に補助制度を新設
- ・ 木塀は、国産木材活用の観点から、通常の塀との差額を全額都負担

## ○ 区市町村庁舎の非常用電源の設置等 0.1億円

- ・ 災害対策本部が設置される区市町村庁舎において非常用電源が72時間以上稼働できるように、都独自に補助制度を新設

## 2-1 暑さ対策《空調設備の設置》

**81.8億円**  
(債務負担行為 9.7億円)

**来夏までに空調設備を稼働**できるよう、必要な予算を計上

- 都立高校の屋内体育施設への空調設置 (債務負担行為 9.7億円)
  - ・ 債務負担行為を設定、年度内に工事契約・着手することで早急に対応
- 区市町村立小中学校の屋内体育施設への空調設置 **80.8億円**
  - ・ 都独自に補助を新設、補助率加算や補助単価引上げにより強力に推進
  - ※ 31年度当初予算においてリースで設置する区市町村への支援を予定
- 区市町村立小中学校の特別教室への空調設置 **1億円**
  - ・ 前倒しが可能な取組を計上し、対応をスピードアップ

## 2-2 暑さ対策《東京2020大会に向けて》（債務負担行為 1.1億円）

**東京2020大会の暑さ対策に早期着手**するため、**債務負担行為を設定**

○ **来年の夏に行われるテストイベントにおける暑さ対策の実施**

- ・ ラストマイルや路上競技において**観客向け暑さ対策を実施**  
（散水チューブ、ミストファンの設置 等）

○ **東京2020大会における暑さ対策の検討**

- ・ 東京2020大会に**必要な対策の検討を前倒して開始**

**31年1月に「暑さ対策緊急対応センター」（仮称）を設置**